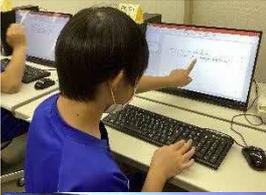


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

交流及び共同学習における ICT 活用

「交流及び共同学習

～会議システム・プレゼンテーションを利用した交流学習～」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・中学部 3年
	障がい名等	知的障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での学習が可能な生徒から大きな集団を苦手とする生徒まで、学年全体での活動において実態差がある。 ・環境の変化により心理的に不安定になりやすい生徒がいる。 ・集中が途切れやすいが、モニタの映像に一定時間注目できる。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	総合的な学習の時間
	単元(題材)名	単元名「地域の学校との交流及び共同学習」
	単元(題材)の概要	①ビデオメッセージによる交流及び共同学習(学級紹介のビデオ撮影) ②オンライン(会議システム)による交流及び共同学習の準備(学校紹介クイズのスライド制作) ③オンライン(会議システム)による交流校との交流及び共同学習(プレゼンテーションソフトを用いた学校紹介)
教材・教具 支援機器	教材・教具 支援機器	 
	教材・教具 支援機器について	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人一人が役割をもち、友達と協力して交流及び共同学習を行う。 ○オンラインによる交流及び共同学習を通して自分たちのことを伝えたり、友達の様子に目を向けたりする。 <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書字や発表を苦手とする生徒が学校紹介クイズの内容をプレゼンテーションソフトで提示できるようにスライドの文字入力や機器の操作を担当した。 ・場面の变化や大きな集団での活動を苦手とする生徒も、交流及び共同学習に参加できるよう、オンラインによる学習の様子を別室で視聴できるようにした。
	材料・作成方法等	PowerPoint・タブレット端末
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムでのやりとりを通して、ビデオレターでは感じ取れなかった相手の反応を感じることができ、交流校の友達のダンスに合わせて手拍子をしたり、他校の友達に「ありがとう。」「またね。」などと声をかけたり手を振ったりするなど、生徒からの表出が増えた。